

# 注文票

注文 FAX 048-432-7335		
氏名:	住所:	電話:
	〒	
新書判並製 188 頁		定価: 本体 1400 円 + 税
2005 年 6 月 15 日 発行		
<p>日本僑報社刊行した主な書籍</p> <p>中国人特派員が書いた日本 永遠の隣人—人民日報に見る日本人 日中相互理解とメディアの役割 あのころの日本と中国 (王濤平、謝海濤著) 従昭和劉平成一駐日十五年報道文集 東瀛八年—中国科技記者日本見聞 中国のインターネットにおける対日言論分析 日中「新思考」とは何か 中日関係に対する戦略的新思考 「対日新思考」論議の批判的検討 日中ホンネで大討論! 中国人の見た日本 中国人の日本奮闘記 中国の「対日新思考」は実現できるか</p>		

# 日中「俳句」往来

## —作品集『大陸逍遙』を通じて—

北京在住翻訳家 田建国 著 TBS 外信部長 岩城浩幸 訳 日本僑報社 ISBN 4-86185-011-8

### 目次

- 日中俳句散談 作品集「大陸逍遙」を通じて
  - 一、俳句の起源と形式
  - 二、俳句の翻訳
- 林林先生訪問記
- 俳句作品集
- 訳者後書き
  - 相互理解と動体視力 田建国
  - さんとの 15 年



俳句を中国語にしてみると・・・ほんの遊びのつもりで始めたことだが、続けてみると、これはなかなか刺激的な作業である。「日本が中国から輸入した漢詩。そこから派生していった世界最短の形式の詩を、再び世界最古の詩の形式に翻訳する。その挑戦的な試み・・・」。本書の題材となつている作品集『大陸逍遙』(2005年、日本僑報社刊、中国語版は五洲伝播出版社刊)からの引用である。そう、俳句と漢詩という組み合わせ、それ自体が実に刺激的なのだ。岩城浩幸(酩酊散人)、敦子(晴雨)と田建国との間の言葉のキャッチボールが、この大陸逍遙に所収されている170句をめぐって行われた。そして、中国の「漢俳(漢字俳句)」の世界に触れることにもなった。

最近、中国に「漢俳学会」も設立されたが、文字を共有している筈の日中両国間での交流は、まださほど深いものにはなっていない。世界各国で愛好されている俳句。この分野で日中交流の成果が、世界の最先端に躍り出ることを夢見つつ、まずは俳句と漢字で遊ぶことの勧めから。

そんな気持ちで、本書を送り出すことにしました。(まえがきより)

**著者略歴** 田建国 (Tian JianGuo) 1959年、中国江蘇省南京市生まれ、上海外国語大学日本語科卒業。海外経済協力基金北京事務所、中国駐日本国大使館二等書記官を経て東京放送(TBS)北京支局勤務、ここで『大陸逍遙』の著者、岩城浩幸・敦子夫妻との交流が始まる。  
現在、中国技術進出口総公司以借款業務部副総経理をつとめる傍ら、日本文学の研究を続け、多数の著作、翻訳を手がけている。

**訳者略歴** 岩城 浩幸 (いわき ひろゆき) 1956年、東京都生まれ、早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。東京放送(TBS)に入社して、報道局で社会部、政治部、編集部などに所属し、91年から95年まで北京支局長。帰国後、JNNニュース編集長、JNN報道特集キャスターを経て、現在は外信部長兼解説委員。  
著書に『大陸逍遙—俳句と隨筆で綴る体験の中国—』(2005年、日本語版は日本僑報社刊、中国語版は五洲伝播出版社刊)がある。